



第277号

2012年(平成24年)2月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪府天王寺区空清町8-33
大阪府医師協同組合東館4階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 今井 宣子
大臨技ホームページURL
http://www.osaka-amt.or.jp/

第37回

平成23年度 第2回 献血推進活動

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

評価点

※評価点=日臨技生涯教育点数

※会員カードをお持ちください。



内容「献血」 「献血推進・市民への呼びかけ」(大臨技ティッシュ配布)

会員の皆様、また寒い冬の季節がやってきました。
毎年この時期、献血数の減少により血液製剤の適正在庫の確保が困難になっております。
このような時期にこそ、医療に関わる我々が率先して献血に関わるべきであるとスタートした
献血推進活動、今年度2回目です。

今回も自らが献血できる方はもちろん、献血はできないけれど市民の方への呼びかけを
手伝ってくれる方など多くの会員の方のご参加をお待ちしています。

なお会員の方は献血会場にお越しの際、行事参加登録いたしますので、
大臨技献血スタッフにお声をかけていただきますようお願い申し上げます。

日時

平成24年2月18日(土) 10:00~16:00

呼びかけ活動会場

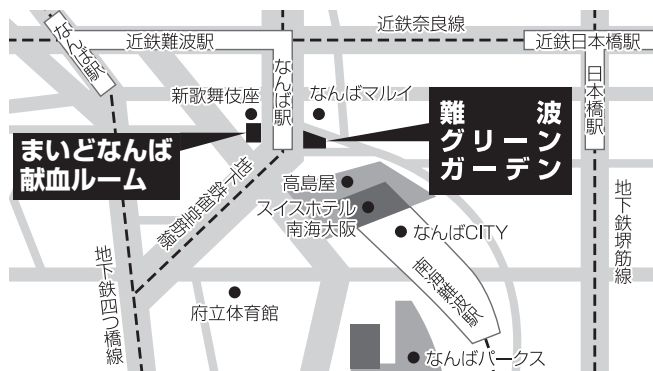
難波グリーンガーデン(南海難波駅北すぐ)

献血会場

- ① 難波グリーンガーデン 献血車(400ml採血限定)
10:00~16:00
- ② まいどなんば献血ルーム
10:30~13:00・14:00~18:30

連絡先

市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
Email: akane@mub.biglobe.ne.jp



- ・献血のみ、街頭呼びかけのみでも 行事参加登録いたします。
- ・10:00~16:00 に 難波グリーンガーデンにて行事参加登録受付いたします。
大臨技献血スタッフに声をかけてください。

府民
公開講座

平成23年度 HIV予防啓発講演会

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

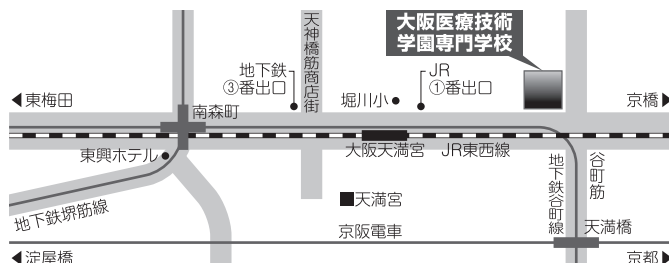
大臨技会員のみなさま、臨床検査技師や他の医療職
種をめざす学生のみなさまを対象に、HIV感染症の
現状や予防について、さらに最新の検査や治療につ
いての講演会を開催いたします。

当日、HIVに関する小冊子を配布し、予防啓発の
輪を広げます。

- 日 時 平成24年2月4日(土) 16:30~18:30
- 会 場 大阪医療技術学園専門学校
- 参加費 無料
- 連絡先 市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
Email: akane@mub.biglobe.ne.jp

内容

1. 「HIV感染症の現状や予防」
講師: 大阪府健康医療部 保健医療室地域保健感染症課
感染症グループ 山中 麻紀(保健師)
2. 「HIV感染症の検査と治療」
講師: 大阪府立公衆衛生研究所 ウイルス課
森 治代(主任研究員)



めまぐるしく変化する社会情勢の中、求められる顧客サービスを迅速に提供しなければならないのは医療の分野も例外ではありません。それぞれの企業体・職種による、望まれるサービスを提供する積極的な姿勢とはどのようなものかをプレゼンターの方々にお話いただきます。

検査技術の学術的な勉強も大切ですが、基本的な医療制度の仕組みや、本質的な顧客サービスという視点も踏まえて各方面からご意見や活動をご紹介頂き、総合討論をしてみたいと考えています。ぜひ、一度、南支部地域オープンセミナーへ足をお運びくださいませ！

テーマ「変化する医療情勢と診療支援を考える」

1. 臨床検査に関する診療報酬の状況について考える
講師：三菱化学メディエンス株式会社 診断検査本部
事業統括 つくば事業室長 瀬戸山 友一
2. 聞かなきゃ損する！ お得な臨床検査
講師：岸和田徳洲会病院 臨床検査科 櫛引 健一
3. 臨床検査技師の病棟常駐配置への期待
～外科病棟支援から～
講師：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 佐藤かおり
4. 新たな取り組みである「患者相談室」の果たす役割
講師：社会医療法人 阪南福祉センター 阪南中央病院
医療安全管理部 北田 淳子
5. 総合討論

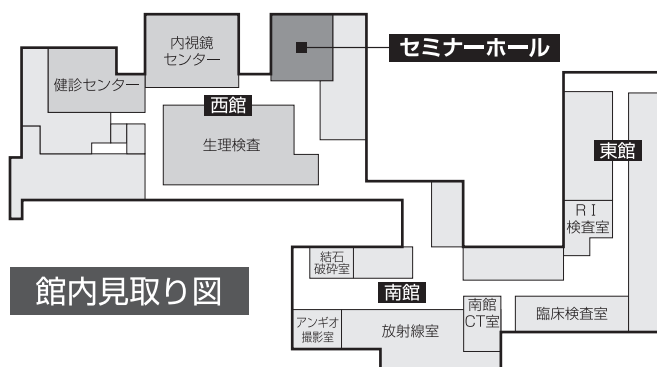
■ 日 時 平成24年2月4日(土) 15:00～17:30
(受付 14:30 ～)

■ 会 場 生長会 府中病院 セミナーホール 西館 地下一階
●JR 阪和線と泉府中駅より徒歩約 5 分
●南海本線泉大津駅より南海バス
(父鬼線・泉大津光明池線) で
和泉府中車庫前バス停下車徒歩約 1 分
●泉北高速鉄道と泉中央駅より南海バス
(泉大津駅前行き) で
和泉府中車庫前バス停下車徒歩約 1 分

■ 参加費 500円(一律)

■ 連絡先 南支部長 岸和田徳洲会病院 臨床検査科
櫛引 健一

Email: kenichi.kushibiki@tokushukai.jp



館内見取り図

府民
公開講座

生殖医療技術部門 講演会

情報組織部 チーム医療部門からのお知らせ

(大臨技・奈良臨技合同開催)

今回の講演会では、不妊の原因となる“子宮内膜症”について取りあげます。宮内膜症の病態や治療など、わかりやすく講演していただく予定です。

当講演会は臨床検査技師だけでなく、一般の方や他職種の方の参加も大歓迎!!

皆さまお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしています。

Theme 『子宮内膜症について学ぼう!!
一病態から治療まで』

講師：持田製薬株式会社 学術担当者(予定)

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

■ 日 時 平成24年2月16日(木) 18:45～20:00

■ 会 場 大阪鉄道病院 3 階会議室
(JR 天王寺駅、地下鉄御堂筋線・谷町線天王寺駅、
近鉄阿部野橋駅 徒歩 5 分)

■ 参加費 無料

■ 連絡先 大阪鉄道病院 臨床検査室 内野 義彦
TEL: 06-6628-2221 (内線 5165)



※ 注意 セキュリティの関係上、ご面倒ですが入館の際に守衛室で講演会参加の旨を申し出て、入館名簿に氏名等のご記入をお願いします。

第20回 糖尿病療養指導士講演会

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 糖尿病劇場から学ぶ、患者さんとのコミュニケーション法

講演1部では、糖尿病関連の POCT (point of care testing) 機器の臨床的意義についてご講演いただきます。糖尿病の診断に HbA1c 値の新しい判定基準が設定されましたが、POCT 機器の精度は安定しているとは言えません。臨床検査技師の立場から、糖尿病診療にどのように関わっていくか、きっと参考になるお話が聞けると思います。

講演2部では、糖尿病療養指導部会初めての企画、糖尿病劇場を行います。「糖尿病劇場」とは、糖尿病診療や療養指導の場面を劇で再現して、一体何が患者さんと医療者側のすれ違いを起こすのかを参加者で考える試みです。登場人物の心の声(本音)を黒子が演じることで、より相手の気持ちに気づきやすくなります。

シーン1では腎症の検査について説明しようとする場面、シーン2では、SMBG 指導の場面を再現します。「糖尿病劇場」は数年前より、糖尿病学会や研究会などで行われていますが、臨床検査技師と患者さんとの関わりの場面を設定したものは、ほとんどありません。永久保存版ともなり得る貴重な劇をぜひお見逃すことのないよう多くの方の参加をお待ちしております。

- 日時 平成24年2月5日(日) 8:50~12:30(受付8:30~)
- 会場 大阪大学中之島センター 10F ホール
- 参加費 500円(一律) ■定員 100名
- 共催 大阪府臨床検査技師会 糖尿病療養指導部会
株式会社 三和化学研究所
- 連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

内容

- 8:50~9:00 開会挨拶
(社)大阪府臨床検査技師会 会長 今井 宣子
- 9:00~10:00 講演1部
「POCT 機器の臨床意義~臨床検査技師の立場で~」
講師: 国家公務員共済組合連合会 新小倉病院
臨床検査科 右田 忍
- 10:00~10:20 糖尿病関連商品の紹介
情報提供「POCT 血糖測定システムについて」
株式会社 三和化学研究所
- 10:20~10:30 休憩
- 10:30~12:30 講演2部
「糖尿病劇場 in 中ノ島 ~検査の知識を活かして
患者さんとのコミュニケーションをとろう~」
講師: 国立病院機構 京都医療センター
医師 岡崎 研太郎
薬剤師 岡田 浩



本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として
 <第2群>糖尿病療養指導研修1単位(認定番号 11-0954)あるいは、
 <第1群>自己の医療職研修単位(臨床検査技師のみ)1単位の
 どちらか一方で認定申請可能です。

第28回 技師長会

情報組織部からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

- ① 今回の診療報酬改訂で何が変わったのか。情報をまとめて解説していただきます。
- ② 今、検査室に求められるものは何なのか? 病院機能における検査室のあり方、検査の質向上を目指したISO15189への取り組みなど、国際的視点をも含めて鋭く語っていただきます。

日時 平成24年2月25日(土) 15:00~17:00

会場 関西医科大学附属 滝井病院 南館2階臨床講堂
大阪府守口市文園町10-15

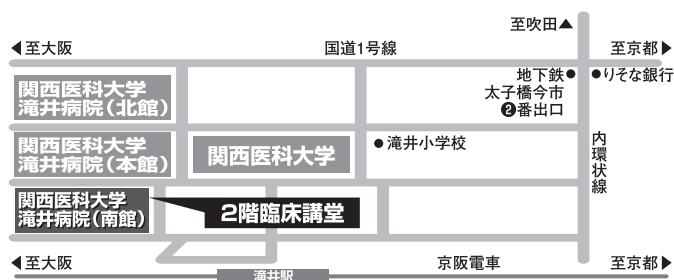
参加費 500円

※募集要項(会場準備の都合上、事前申込とします)

- ◆定員 120名
- ◆申込受付期間 平成24年2月1日(水)~平成24年2月20日(月)
- ◆申込方法 下記事項を記入のうえ、FAXまたはEメールにてお送りください。
①氏名 ②施設名 ③電話番号 ④メールアドレス
⑤情報交換会参加の有無 ⑥会員番号
⑦会員区分(大臨技・日臨技など)
- ◆連絡・申込先 大阪府立成人病センター 井戸田 篤
FAX: 06-6981-8377
Email: idota-at@mc.pref.osaka.jp

テーマ 「第3者評価を考える」

- 第1部 【情報提供】『診療報酬改訂最新情報』
講師: 株式会社エスアールエル 講師未定
- 第2部 【特別講演】「病院機能評価 vs ISO15189」
講師: 公益財団法人 日本適合性認定協会
(東京都臨床検査技師会会長) 下田 勝二
- 第3部 (会終了後、場所を変えて情報交換会(参加費実費)を予定)



臨床化学検査部門 講演会

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数



「関節リウマチについて～最近の治療方針・ガイドラインと関連マーカーを中心に～」

講師：積水メディカル株式会社 営業部 カスタマーサポートセンター

学術・技術西日本グループ長 松本 美枝

今年度、最後の講演会は関節リウマチについてです。
リウマチという疾患をとりまく環境について、マーカーとしての MMP-3 の使用例やメトトレキサートの診療ガイドラインの解説を中心に講義していただきます。
皆様ふるってご参加ください。

- 日 時 平成24年2月9日(木) 18:30～20:00
- 会 場 大阪市立大学医学部4階小講義室1
- 参加費 700円
- 連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 石田 繁則
Email: shigei@msic.med.osaka-cu.ac.jp
TEL: 06-6645-2215

他職種公開講座
病理特別講習会

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

今年度の病理特別講習会は、関西労災病院 病理科の中塚伸一先生をお招きして、『**悪性リンパ腫の診断プロセス ～B細胞腫瘍を中心に～**』をご講演いただきます。

悪性リンパ腫の病理組織標本の基本的な見方・考え方をB細胞腫瘍を中心に解説していただきます。

病理細胞検査に携わっておられる方はもちろん、血液検査に携わっておられる方、リンパ腫は難しいなあ・・・って思っている方にも興味を持って受講していただける内容ですので、みなさん、ふるってご参加ください。

Theme 悪性リンパ腫の診断プロセス
～B細胞腫瘍を中心に～

講師：関西労災病院 病理科 中塚 伸一

- 日 時 平成24年2月3日(金) 18:45～20:15
- 会 場 大阪府立成人病センター 本館6階講堂
- 参加費 500円(一律)
- 連絡先 南大阪病院 宇津野 美弥子
Email: jako@oct.zaq.ne.jp

第26回 大阪病理技術研究会

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

今回は『目指そう！特染マイスター』をテーマとした研究会を開催します。最近免疫染色に取って代わられつつある特殊染色ですが、この特染にはとてもたくさんの情報が詰まっています。ちょっと、特殊染色を見直してみませんか！。特染の中でも、押さえておきたい特染、特染を迅速簡便に行う手法などベテランさんはもちろん若い技師の方にもぜひ聞いていただきたい内容を講演していただきます。

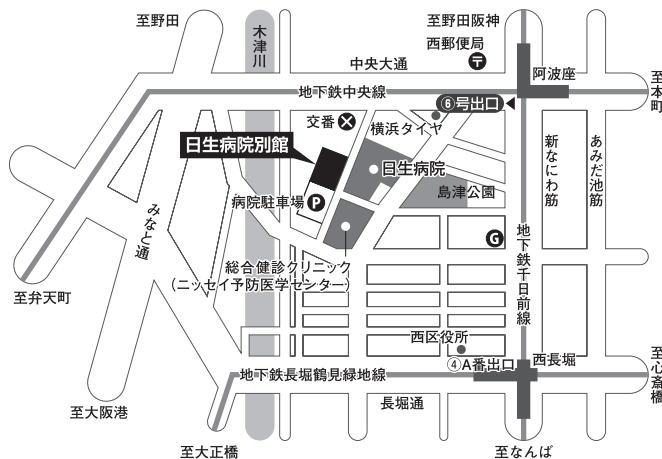
また、会員の皆さまに参加していただきました病理検体に関する保存や業務に関するアンケート調査報告、クリオスタットの感染症対策、早期乳癌術後の再発危険度を予測する遺伝子解析である OncotypeDX について講演していただきます。ルーチンでの悩みを少しでも解消できたらと思っていますので、みなさんふるってご参加ください。

なお、終了後には懇親会も開催しますので、研究会に引き続きご参加ください。(当日受付)

- 日 時 平成24年2月25日(土) 13:30～17:30
- 会 場 日生病院 別館1階講堂
- 参加費 1,000円
- 連絡先 南大阪病院 宇津野 美弥子
Email: jako@oct.zaq.ne.jp

Theme 目指そう！特染マイスター

1. 病理標本、検体の保存と業務内容のアンケート調査の結果報告
市立堺病院 佐々木 伸也
2. 意外と知られていない純水の基礎知識
メルク 株式会社 坂垣内 良史
3. 遺伝子検査Oncotype DX
株式会社 SRL 岩井 勝也
4. 迅速診断における感染防止の現状とその対策
サクラファインテックジャパン 株式会社 榎本 純也
5. ライカST5020を一台用いたHE染色とPap染色の同時染色について
大阪厚生年金病院 辻岡 貴則
6. 特殊染色の迅速化と簡便化
大阪市立大学附属病院 佐々木 政臣
7. おさえておきたい特殊染色
藤田保健衛生大学附属病院 平澤 浩
8. 大臨技のそこまで言って委員会



[交通案内]

地下鉄 中央線・千日前線「阿波座駅」下車西側(6)号出口 約3分
長堀・鶴見緑地線「西長堀駅」下車(4)A号出口 約6分

微生物検査部門 定期講習会

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme

『質量分析技術の微生物検査への応用と実用性』

講師：シスメックス・バイオメリュー株式会社
吉田 欣史

近年感染症領域においては新興の感染症や耐性菌、またそれらによって引き起こされる医療関連感染が大きな問題となっており、これらの課題は治療・感染対策の面から社会的問題として多々取り上げられています。

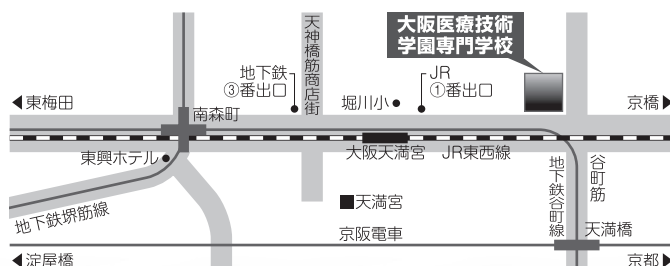
この近年で微生物検査の重要性も再認識され、さらなる技術の進歩による精度の高い結果提供と、検査の自動化による効率化に期待が寄せられています。海外においてもこれらの課題を解決する為に、今まで産業分野で使われてきた技法の臨床分野への新たな応用導入が検討されています。

今回お話をさせていただく微生物同定法は、特に画期的な技法として世界中で注目されている手法であり、質量分析計(Mass Spectrometry)と呼ばれる分析機器を用いた測定手法です。

大きな特徴として生化学的手法で数時間必要であった微生物同定を数分で導き出すことが可能であることが挙げられ、さらに従来法と比べて高精度であるとされています。これはリボソームタンパク質を測定及び同定を用いているために生化学的手法を用いた従来法と比較した場合、遺伝子学的手法を用いた同定結果により近い結果をもたらすという研究結果からきております。更に、ランニングコストを大幅に下げるため、病院経営の観点からも有望視されるアプローチといわれています。

質量分析計の基礎原理から質量分析計を用いた微生物同定について、また、本技術の利点と現状の問題点、今後の展望及び従来法と比較した結果などもご紹介させていただきます。

- 日 時 平成24年2月28日(火) 18:30~20:00
- 会 場 大阪医療技術学園専門学校 2階
(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)
- 参加費 500円
- 定 員 200名
- 連絡先 (財)大阪府警察協会大阪警察病院 赤木 征宏
Email: biseibutsu@oph.gr.jp

はじめての塗抹検査
基礎技術講座のご案内

『検体検査管理加算』を算定するための要件として「排泄物、滲出液又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のものに限る。)」が記載されています。

その他とは、蛍光顕微鏡・位相差顕微鏡・暗視野装置等、保温装置使用のアメーバ検査を除外したもの、となり、通常の光学顕微鏡での検査が該当します。

微生物検査室で実施される光学顕微鏡での検査はチール・ネールゼン染色とグラム染色が一般的に行われ、どちらを選択しても算定することは可能と考えられますが、臨床的な必要性からすればどちらも実施すべきです。

微生物検査室の有無にかかわらず全ての施設でこの要件が加わったため、新たに塗抹検査を実施する施設も多いかと思われませんが、塗抹検査は顕微鏡と染色液さえあれば出来るという検査ではありません。

グラム染色を中心として、検体の取り扱い・標本作製・染色・顕微鏡観察・抗酸菌や真菌や稀な感染症の供覧などを、実技と講義とディスカッションを織り交ぜた塗抹検査の基礎技術講座を実施します。これから塗抹検査を始めようという方々は、特にふるってご参加ください。

- 申込み方法:**
- ①氏名、
 - ②会員番号
 - ③施設名
 - ④所属部署、連絡先(TEL・Eメール)
 - ⑤細菌検査の経験(有無 or 年数)
 - ⑥施設で使用しているグラム染色の方法名
(ハッカー・フェイバー・B&M など)
 - ⑦実習後の「懇親会」の参加可否、
- を記載のうえ、下記メールアドレスにお申込みください。
- (携帯からの申込みは、下記メールアドレス受信が可能であれば「可」です)
- 1週間以内に参加登録可否のメールを送信いたします。返信がなければお電話ください
- 申込み先:** (財)浅香山病院 中央臨床検査部
李 相太(り そうた)
TEL: 072 (229) 4882
E-mail: osaka.amt.microbiology@gmail.com

- 日 時 平成24年2月11日(土・祝日) 10:00~17:00
(受付9:30~)
- 会 場 大阪市立大学医学部基礎学舎 5F微生物実習室
(最寄り駅: 各線天王寺駅)

- 受講料 2,000円
- 定 員 先着40名

輸血セミナー2012

今回のシンポジウムは、皆様からの要望の多い認定輸血検査技師についてとりあげます。

平成7年に認定輸血技師制度が導入されて以来、すでに15回の通常認定試験が実施され、全国で多くの認定技師が安全な輸血療法のために活躍しています。

シンポジウムでは認定輸血検査技師に求められる知識や臨床の場で実際にどのような活動をしているのか等を具体的にお話いただきます。これから試験を受けようと考えている方だけでなく、活動内容に困っている認定技師の方にも役に立つ内容です。

また、講演では医師のかゆい所に手の届くような検査報告書の書き方を伝授していただきます。また、輸血事故を経験してしまった貴重なお話から、自施設の輸血手順の見直しや、「もし輸血事故が起きたらどうする?」というのをシミュレーションしてみるのはいかがでしょうか。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

- **日 時** 平成24年2月11日(土) 10:00~16:00
(受付 9:30 ~)
- **会 場** 大阪医科大学 臨床第一講堂
- **参加費** 3,000円
ただし非会員については資料代1,000円が別途必要。
- **問合わせ先** 「件名」を「輸血セミナー問い合わせ」として下記アドレスへメール送信又は電話でお問い合わせください。
Email: yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp
TEL: 06-6372-0675 (大阪府済生会中津病院 深田恵利奈)

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

【講演 10:00 ~ 12:00】

1. 「臨床医が求める検査結果報告書の書き方」
講 師：旭川医科大学病院 臨床検査部・輸血部 友田 豊
2. 「異型輸血事故から学んだこと」
講 師：大阪市立大学医学部附属病院 輸血部 藤野 恵三

【シンポジウム 13:00 ~ 16:00】

「認定輸血検査技師について」

- 認定輸血検査技師に必要とされる知識・検査技術
講 師：岸和田徳洲会病院 臨床検査科 櫛引 健一
- 認定輸血検査技師として輸血管理業務への関わり (大学病院)
講 師：大阪医科大学附属病院 輸血室 鴨川 康代
- 認定輸血検査技師として輸血管理業務への関わり (一般病院)
講 師：生長会 府中病院 臨床検査室 三平 りさ
- 認定輸血検査技師に期待されること
講 師：東京慈恵会医科大学附属病院 輸血部 田崎 哲典

第5回 緊急検査部会

あんな症例・こんな症例

～いっしょに経験しませんか～

評価点 基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

平成23年度、緊急検査部会最後の勉強会は症例を取りあげて皆様といっしょに勉強したいと思います。症例は日ごろ良く遭遇する症例から頭を抱える症例までお役に立つこと間違いなしです!!
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【プログラム】

1. 「胸痛からの・・・? 緊急検査における生理検査の役割」
講 師：大阪府済生会野江病院 山崎 正之
2. 「感染症? 血液疾患?・・・どんな症例」
講 師：大阪府立中河内救命救急センター 津田 喜裕
3. 「えっ、こんなことあるの・・・? (外傷編)」
講 師：大阪府立泉州救命救急センター 福田 篤久

- **日 時** 平成24年2月14日(火) 18:30~
- **会 場** 大阪鉄道病院 3階 大講堂
- **参加費** 500円
- **連絡先** 大阪府立泉州救命救急センター 福田 篤久
Email: atsuhiisa@sccmc.izumisano.osaka.jp
TEL: 072-464-9911 (内線9601)



第4回緊急検査部会感想文を11ページに掲載しています。

他職種公開講座 学術部講演会



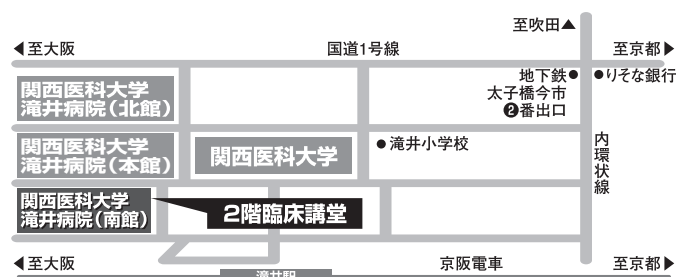
第6回学術部講演会を下記の日程で開催予定しております。

詳しくは3月号の大臨技ニュースを参照ください。

- **日 時** 平成24年3月10日(土) 14:30~
- **会 場** 関西医科大学附属滝井病院 南館 2階臨床講堂
- **連絡先** 関西医科大学香里病院 高田 厚照
Email: takada@kouri.kmu.ac.jp

「感染症見聞録

～画像・形態から見た感染症検査～



第1回 中央支部地域オープンセミナー

明日から使える臨床検査の基礎知識あれこれ

日々の診療の中で、ナースの皆さんをはじめ他職種の皆様が、「心電図がもう少し理解できれば・・・」「この血液検査のデータってどうなの?」「体腔液検査の意味ってよく理解できない」などと悩まれることは多いのではないのでしょうか。

大阪府臨床検査技師会 中央支部では、臨床検査技師以外の方々に少しでも検査の結果を理解できるようになっていただければと考え、今回のセミナーを企画致しました。

もちろん、臨床検査技師の方も基礎からもう一度、知識を整理したい方にはおすすめです。

多くの方々に、少しでもお役にたてるようなわかりやすい臨床検査の基礎知識をお話いたしますので皆様ふるってお越しくださいませ。

- 日 時 平成24年3月3日(土) 15:00~17:30
(受付 14:30 ~)
- 会 場 大阪研修センター
大阪市淀川区十三本町 1-12-15
ドルチェヴィータファースト3階
- 参加費 500円(一律)
- 定 員 約200名
- 連絡先 大阪府済生会野江病院 臨床検査科 森 啓悟
Email: kensa@noe.saiseikai.or.jp
TEL: 06-6932-0401(内線 280 番)

内容

1. 血液検査の検査結果の見方
講師: 大阪府済生会野江病院 臨床検査科 部長 上田 幹子
2. 心電図の判りやすい判読方法
講師: 市立岸和田市民病院 医療技術局 中央検査部 六尾 哲
3. 体腔液検査の検査結果の見方
講師: 国家公務員共済組合連合会 大手前病院 中央検査部 田原 昇



平成23年度大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告 「大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会」

大臨技標準化推進委員会は、昨年10月に95施設のご参加をいただき第4回大臨技精度管理調査を実施しました。現在の医療において臨床検査データの標準化は必須の課題であり、大臨技としても、よりよい事業にすべく今後も継続して推進していく予定であります。

つきましては今年度に標準化推進事業に参加された方、この事業にご興味のある方々にご参加いただき、今回の事業報告ならびに標準化推進事業に対するご意見を伺いたいと思います。

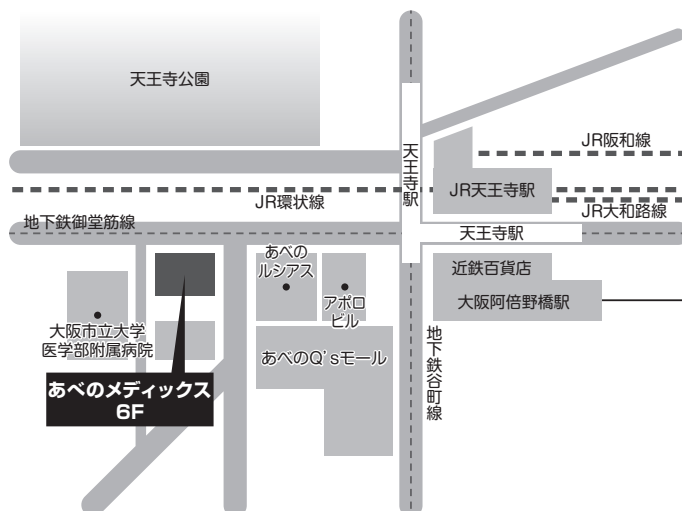
多くの方のご参加をお待ちしております。

- 日時 平成24年3月3日(土) 14:30~17:00
- 会場 あべのメディックス 6階ホール
- 参加費 500円
- 連絡先 大阪厚生年金病院 中央臨床検査部 竹村 真俊
Email: m-takemura@okn.gr.jp
TEL: 06-6441-5451(内線 2345)

内容

1. 平成 23 年度大臨技精度管理調査結果報告
2. 評価方法および評価試料について
3. 日臨技精度保証施設認定制度について

討論会、その他





他職種公開講座 第1回 北支部地域オープンセミナー 報告

Theme 『検査と薬 ～感染症領域における臨床検査技師と薬剤師の役割～』

2011年12月3日 大阪医科大学附属病院

市立豊中病院 福島 景子

12月3日に大阪医科大学で行われた「検査と薬～感染症領域における臨床検査技師と薬剤師の役割～」という北支部地域オープンセミナーに参加しました。

臨床検査技師と薬剤師の立場からそれぞれ2題ずつ演題が出され話がありました。薬剤師さんとは話す機会がほとんどないので、抗菌薬と投与計画などについてあらためて話を聞くことができてよかったです。

検査と薬は患者さんの診断と治療に深く関わっています。それぞれの職種間の相互理解を深めることは患者さんへのよりよい感染症治療につながると思いました。



交野市 おがわクリニック 竹内 早苗

さる12月3日に開催された第一回北支部地域オープンセミナー「検査と薬～感染症領域における臨床検査技師と薬剤師の役割」に参加させていただきました。ふだんはなかなか薬剤師の先生方の生の声をうかがう機会がなく新鮮かつ、どのようにTDMシュミレーションをし、抗生剤の処方に至るのかという流れを知ることができ、とても勉強になりました。

私自身、細菌検査に従事しておらず学生時代以来に聞く名前や、薬理学のことなど、あぁもっとあの頃どうして関連付けられなかったんだろう…と思うことがたくさんありました。

講演後のディスカッションでは私には少々難しいお話が続きましたが、薬剤師の先生方からの検査技師への期待や、細菌検査に従事していなくてもグラム染色を判定できるようになってほしいとのお話が興味深かったです。家に帰ってすぐに染色の本を開いたことは言うまでもありません。

今回のような他職種の方のお話は違う視点からの意見など、学ばせていただくことも多く、また参加したいと思います。



11月26日、緊急検査部会の府民・他職種公開講座に参加させていただきました。内容はインフルエンザについての事でした。

1題目、櫛引先生の“インフルエンザの迅速診断キットの選択は、どうされていますか？”は多数のキットの使い勝手や判定ラインの見やすさの検討をされた結果を見せていただいて、やはりキットごとに長所短所はあるものだなあと改めて思いました。感度の良さは重要ですが、コスト、使いやすさ、判定しやすさも考えて今後キットの検討をするような際にはそれらを念頭に置いて検討してみたいと思いました。

2題目、早川先生の“抗インフルエンザ薬”では、私が全く知らなかった薬の種類や作用機序を知ることができました。各々の薬の特徴、機序についての詳しい説明をさせていただいたので、これを機会に抗インフルエンザ薬のことをもっと調べて知識を得たいです。

3題目、佐々木先生の“不思議の国のインフルエンザ診療”では、医師の立場からみた、インフルエンザの診断の仕方にはとても興味深かったです。一般的な風邪とインフ

ルエンザの症状経過の違いの図は覚えておきたいと思います。また、インフルエンザの検査で陽性が出てインフルエンザの薬を飲んでいいたにも関わらず、症状が治まらないことから再診の結果他の感染症が混合している症例もあると聞いて、そんなこともあるのか…と大変勉強になりました。今回学んだ内容を活かし日々の業務に取り組みたいと考えました。



VOICE

臨床検査技師教育機関からの声

研究紹介：血中分泌型microRNAと臨床検査

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座予防診断学研究室
博士前期課程2年 武村 和哉

私は、大阪大学の「予防診断学研究室」で岩谷良則先生と渡邊幹夫先生の指導のもと、社会に役立つ独創性の高い研究を目指して、毎日充実した大学院生活を送っています。

研究テーマは、「自己免疫疾患の予後診断法の開発」で、代表的な臓器特異的自己免疫疾患である自己免疫性甲状腺疾患（橋本病・バセドウ病）をモデルに、自己免疫疾患の発症や増悪を予測できるようにする検査診断法の開発を行っています。

この研究テーマにおいて、私は、最近注目されている「血中分泌型microRNA」を予後予測のマーカーとして利用できないかを検討しました。microRNAは、22塩基程度の短いnon-coding RNAであり、標的mRNAに結合することでその遺伝子の発現を抑制します。遺伝子全体の3分の1以上を制御していると言われており、様々な生理現象や疾患と深く関わっています。

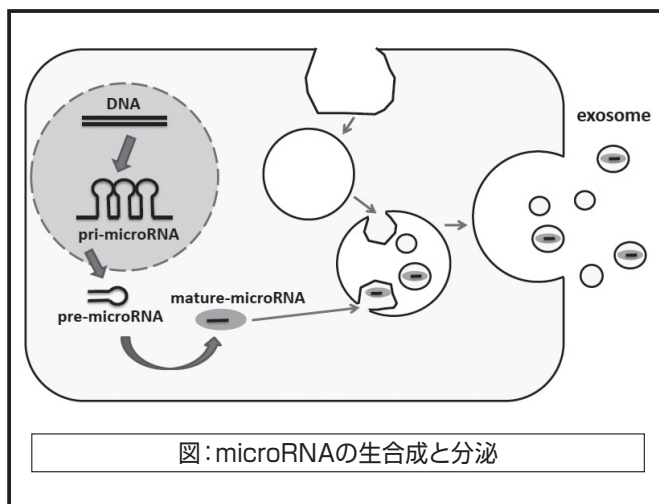
近年、このmicroRNAがエクソゾームと呼ばれる分泌顆粒の中に含有され、血液をはじめとする様々な体液中に分泌されていることが分かりました。

この分泌型microRNAは、他の細胞に取り込まれてその細胞内で機能するという報告もあり、新たな細胞間コミュニケーションの担い手ではないかと注目されています。また、様々な体液中に安定して存在する分泌型microRNAは、新たなバイオマーカーとしても期待されています。

たとえば尿や唾液中の分泌型microRNAをバイオマーカーとして使用できれば、非侵襲性の良い検査ができる可能性があります。現在、免疫制御に関わる分泌型microRNAの1つが、自己免疫性甲状腺疾患の病態に関わっている可能性を見出しており、研究をさらに進めていきたいと考えています。

以前、ゲノムのたった2%が蛋白をコードする遺伝子で、残りはジャンク（がらくた）DNAとよばれていました。しかしmicroRNAのような蛋白をコードしないnon-coding RNAがゲノムの約70%を占めていることが明らかになり、さらにmicroRNA以外にも様々なnon-coding RNAが存在することも解明されてきました。血中分泌型microRNAのように核酸が血中を循環して細胞間コミュニケーションに関与するというのは大変な驚きです。

この4月から名古屋大学医学部附属病院臨床検査部で勤務することになりましたが、まだまだ謎の多い生命現象の新しい知見をいち早く臨床検査に取り入れ、革新的な検査診断法を開発できるように頑張っていきたいと考えています。



！会員証提示のお願い！

講演会等の参加時は、必ず受付で大臨技会員証のご提示をお願いいたします。
提示なき場合は、**※非会員と同等扱い**とさせていただきます。
(※府民公開、他職種公開講座を除きます。)

■ 平成24年度 大臨技会費納入のお願い

平成24年度 会費納入の時期となりました。会費は前納制をとっていますので、大臨技ニュース12月号に同封されている「郵便振込用紙」で、**2月29日**までのできるだけ早い時期に納入してください。

納期までに納入されますと、「平成24年度大臨技会員証」が3月中に届きます。

- **平成24年度 大臨技会費 5,000円**
- 大臨技臨床検査技師賠償責任保険**(大臨技のみの会員専用で、日臨技会員の方は同等の保険に自動加入されます)**に加入される方は、保険料(例：保険期間が1年の場合、2,950円)も同時に納入してください。

加入方法は、大臨技ホームページ(<http://www.osaka-amt.or.jp/>)の「大臨技臨床検査技師賠償責任保険への加入方法について」をご覧ください。
申込み用紙は上記ページより入手できます。
保険料納入時、必ず大臨技事務局に送付してください

- 新入会および再入会の方は、入会金2,000円を加算した金額になります。

■ 会費の振込方法等についてお願い

- なるべく施設毎にまとめてお振込みください。
- 施設で合算して会費を振り込まれる場合は、郵便振込用紙1枚に合算した金額を記入し振り込んでいただくとともに、納入者名簿の提出をお願いいたします。
- 「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」に加入される場合は、必ず、1名につき郵便振込用紙1枚を使用して振り込んでください。(施設毎の合算での振り込みの場合、当会で保険料の把握が出来なくなります。)
- 大臨技会費および大臨技臨床検査技師賠償責任保険料の領収証につきましては、振込時の「振込票兼受領証」をもって、それに替えさせていただきます。

■ 変更届けについて — 変更が生じた場合、速やかに変更届けを提出してください —

- 勤務先の移動、自宅住所の変更、氏名の変更等が生じた場合は、速やかに「大臨技 会員登録用紙」を大臨技事務局まで郵送してください(電話、FAXでの届出はご遠慮ください)。
- 届出をされませんと、大臨技からの郵送物は、あて先不明で配達されなくなります。

「大臨技 会員登録用紙」は、大臨技ホームページ(<http://www.osaka-amt.or.jp/>)の「大臨技入会案内」より入手できます。

■ 大臨技発行物の送付先について

- 平成24年度より、大臨技からの発行物(大臨技ニュース・会報等)について、施設会員(勤務先施設が登録されている会員)の方への送付先は、勤務先施設となります。

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
FAX:06-6763-5653 E-mail:imai@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成24年3月号の原稿メ切は**2月4日(土)**、4月号は**3月4日(日)**です。